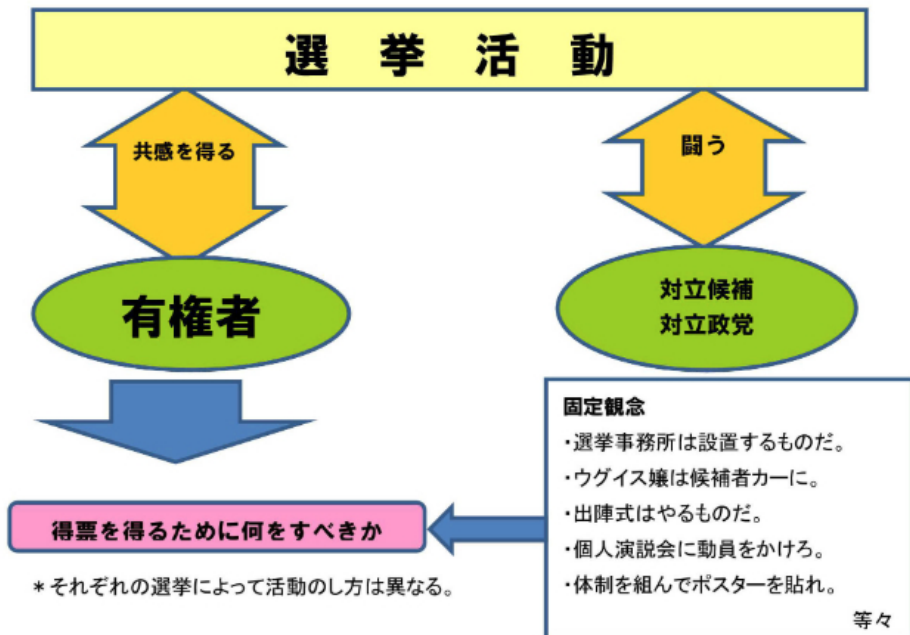


## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [選挙活動](#) | [選挙活動](#) 3 [選挙を闘うポイント](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

### 選挙活動 3 選挙を闘うポイント

選挙は、闘うだけでなく、有権者の「共感を得る」ことが必要です。どうしたら投票してもらえるか、選挙の都度、固定観念を持たずに考えることが大切です。



\*それぞれの選挙によって活動のし方は異なる。

選挙には確かに「闘う」という側面がありますが、同時に「共感を得る」という側面があることを忘れてはなりません。「闘う」といっても、国民・有権者と闘ったのでは、得票を得ることはできず、当選は不可能です。闘うのは、対立候補者、競争する相手政党に対してです。有権者や国民に対しては、闘うのではなく、共感を得るために、今どのような生活不安があるのかを考え、有権者が望んでいることを政策として提案しなければなりません。特に現在は政治や政治家に対する不信任感が強く、通り一遍の主張や政策では心を捉えることはできません。また、選挙に固定観念は禁物です。ところが、選挙のベテランほど固定観念を持つ傾向があります。そして、選挙の時期になると前回の資料を探し出し「前はこうだったから、今回もこうしなければならぬ」と言って前回と全く同じ取り組みをしているところもあります。しかし、有権者のニーズも情勢も、選挙制度も全く違うのです。固定観念で選挙活動を進める場合は、表面的には組合員の出入りも多く、演説会も満員、宣伝車もウグイス嬢を乗せて一応回って、電話作戦も訪問作戦も動員型でカタチだけ動いていますが、その割に票が出ないで、お金ばかりかかる選挙になっています。得票を得るために、1票を入れてもらうために何をすべきかを固定観念なしで考えることが大切です。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

## Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[🔍 サイトマップ](#) [🔍 このサイトについて](#) [🔍 個人情報保護の取組みについて](#)

[🔍 ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.